

報道関係者 各位

平成 24 年 3 月 30 日 日本科学未来館

第 10 回 国際幹細胞学会年次総会 記念イベント iPS 細胞がひらく未来週間 平成 24 年 6 月 13 日(水)～18 日(月)

にっぽんか がくみらいかん 日本科学未来館(略称: 未来館、館長: もうり まもる 毛利 衛、所在地: 東京都江東区青海)は、日本で初めて開催される国際幹細胞学会 (ISSCR) の年次総会を記念したイベント「iPS 細胞がひらく未来週間」を平成 24 年 6 月 13 日(水)から 18 日(月)に開催します。

日本で生まれた iPS 細胞(人工多能性幹細胞)をはじめとする、幹細胞研究に関する国際学会「国際幹細胞学会」の第 10 回総会が、初めて日本(横浜市)で開催されます。これを記念して、未来館では「iPS 細胞がひらく未来週間」を実施。京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA) 所長の山中伸弥氏とクローン羊のドリーを生み出して世界中を驚かせたエジンバラ大学の Ian Wilmut 氏をお迎えし、SF作品で描かれた生命のあり方から iPS 細胞の可能性を考えるシンポジウム(6 月 17 日 16 時～18 時: 要申込)など、さまざまな企画を通して、iPS 細胞研究を社会としてどう受け入れていくかを来館者とともに考えます。

iPS 細胞とは、人工的な操作によって、体のあらゆる組織や器官の細胞になりうる能力を持たせた特殊な細胞のことです。皮膚の細胞を材料に、鼓動する心臓の細胞、長い突起を持つ神経細胞など、形も機能もさまざまな細胞を作り出すことに成功してきました。iPS 細胞は新薬や治療法の開発に役立つだけでなく、将来的には再生医療の切り札になると期待されています。世界中で盛んに研究が行われていますが、日本では iPS 細胞の生みの親である京都大学の山中氏が中心となって、世界の研究をリードしています。

■ 概要 ■

開催期間 平成 24 年 6 月 13 日(水)～18 日(月)

場 所 日本科学未来館 (住所: 東京都江東区青海 2-3-6)

開館時間 午前 10 時～午後 5 時(入館は閉館時間 30 分前まで)

休館日 毎週火曜日(ただし、3/20、3/27、4/3 は開館)

入場料 大人 600 円、18 歳以下 200 円

※6 月 17 日に開催するパブリックシンポジウムは無料

※常設展示見学可

※小学校未就学者は無料

※障害者手帳所持者は大人および付き添い者 1 名まで無料

主 催 日本科学未来館

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL: 03-3570-9151 FAX: 03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 事業推進課 プロモーション担当 (press@miraikanjst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-6 TEL: 03-3570-9192 FAX: 03-3570-9150

1. プレイベント サイエントストーク「iPS細胞のテクノロジーとこれからの医療」

再生医療の担い手として注目を浴びるiPS細胞やES細胞。アメリカでは、ES細胞を使った臨床応用がすでに行われ、日本でも来年には世界で初めてiPS細胞を使った臨床応用がスタートと言われるなど、私たちが生活の中で関わる日もそう遠くないかもしれません。今回は、幹細胞研究のトップランナーをお迎えし、再生医療のテクノロジーの現状と再生医療がもたらす未来と私たちの関わりについて、来館者とともに語り合います。

- 開催日時 平成24年4月28日(土) 15:00～16:00(受付 14:45～)
- 場 所 3階 実験工房
- 登壇者 高橋政代氏(理化学研究所 再生科学総合研究センター)
- 定 員 45名
- 対 象 中学生以上 ※小学生以下も可
- 参加方法 当日先着順。直接会場までお越し下さい
- 参加費 常設展示料金のみ 大人600円、18歳以下200円

2. ISSCR2012 パブリックシンポジウム「iPS細胞と私たちの未来」

「基本的な知識さえあれば、技術的には誰でもiPS細胞を作ることができる」(京都大学 iPS細胞研究所 山中伸弥氏の言葉)。もしiPS細胞を、あなた自身の手で作り出すことができたら？本イベントでは、iPS細胞を道具として手に入れた私たちの可能性がどこまで広がるかをテーマに、SF作品で描かれた様々な生命のあり方を紹介しながらともに考えます。登壇者はクローン羊ドリーの生みの親、Ian Wilmut氏と、iPS細胞を開発した山中伸弥氏です。

- 開催日時 平成24年6月17日(日) 16:00～18:00(受付:15:30～)
- 場 所 1階 シンボルゾーン
- 登壇者 山中伸弥氏(京都大学 iPS細胞研究所)
Ian Wilmut氏(Edinburgh大学 再生医学研究所 MRC再生医学センター)
- 定 員 500名
- 参加方法 4月27日(金)より未来館WEBサイトにて事前申込を受付
- 使用言語 日英同時通訳対応
- 参加費 無料 ※本シンポジウムは、当日Ustreamでライブ中継します

3. 大型映像作品「Young Alive! ～iPS細胞がひらく未来～」特別上映

あらゆる組織・器官の細胞にもなりうるiPS細胞は、どのようなシステムで作らされ、将来どんなことが期待されているのでしょうか。iPS細胞のしくみを、小学校6年生の少女の成長の物語にのせて、CGIによる3D映像とアニメーション映像で紹介する作品です。Miraikan Shopにて販売中の本映像作品のグラフィックガイド本「iPS細胞がわかる本～未来をひらく最新生命科学～」もあわせてお楽しみ下さい。

- 開催日 平成24年6月13日(水)～18日(月)
- 場 所 6階 ドームシアターガイア
- スケジュール 12:00～12:30、15:00～15:30
※6/17に限り、17:30～18:00、18:30～19:00も追加上映
※朝10:00より当日整理券配布
- 参加費 常設展示料金のみ 大人600円、18歳以下200円

4. ジオ・コスモス特別実演

さまざまな地球に関するデータを映し出す球体ディスプレイ「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」を用いた特別実演。世界各地の民族のDNAを解析することで明らかになった人類の移動軌跡を映し出し、飛躍する生命科学の研究分野が、未来にどのように役立てられていくのかをともに考えます。

- 日 時 平成24年6月13日(水)～18日(月) ※開催時間は決定次第、未来館ホームページに掲載

5. 体験コーナー「iPS細胞を見てみよう！」

京都大学と理化学研究所で作製された、ヒト由来のiPS細胞の標本を展示します。標本はどの細胞になるか決定する前のiPS細胞と、iPS細胞からヒトの網膜の組織細胞に分化させた細胞です。顕微鏡をのぞいて皆さんの目で観察してみてください。期間中は、「iPS細胞がもたらすこれからの再生医療」というタイトルで、科学コミュニケーターのミニトークも開催します。

- 開催日 平成24年6月13日(水)～18日(月)
- スケジュール ミニトーク 13:45～14:00 / 標本観察 開館時間中随時
- 場 所 5階 常設展示「世界をさぐる」
- 参加費 常設展示料金のみ 大人600円、18歳以下200円